

産業建設委員会・分科会

質 鳥獣被害（農作物）防止対策事業費の追加理由は。

答 熊やイノシシの目撃件数が例年以上に多いことから、実施隊の出勤機会の増加による報酬の追加のほか、鳥獣保護管理法の改正に伴い、市街地に熊等が出没した際に市職員が装着する装備品等の購入費を追加しようとするものである。

質 夢ある畜産経営ステップアップ支援事業費補助金の内容は。

答 畜産に係る機械の購入を予定している1経営体に対し、県と市で事業費補助をしようとするものである。

質 令和6年度能代市水道事業会計決算の認定に関し、漏水の調査及び修繕に係る費用の内容は。

答 市内を6区画に分け、昭和に布設した管を対象に各ブロック1年のサイクルで調査している。調査費用は年間400万円〜500万円、漏水箇所修繕費用は1件当たり10万円〜20万円程度であった。

質 令和6年度能代市下水道事業会計決算の認定に関し、公共浄化槽の整備状況は。

答 能代市循環型社会形成推進地域計画において、年間51基を目標としているが、近年、住宅等のリフォームによる水洗化の件数が減少傾向にあり、6年度は33基であった。



産業建設委員会の様子

（鍋谷 暁）

議会改革調査特別委員会

9月16日に開催された委員会では、前回の協議結果に基づき、4つの付議事件について検討を行ったほか、新たに、能代市議会基本条例の検証を付議事件に追加し、調査を行った。

タブレット端末の活用について

●移行期間終了後の紙媒体資料の在り方

協議結果 印刷製本された冊子資料の提供について、提出元における作成の方向性を確認し、令和8年度以降においては、提出元への対応を求めないとして、全会一致で決定した。

また、今回の調査をもって、タブレット端末の活用に関する調査は終了した。

政務活動費について

●交付額

意見 引上げを検討すべき。

意見 令和8年度当初予算編成の時期を迎えることから、今回の委員会において決定すべき。

意見 据置きとして、今回の委員会において決定すべき。

意見 市民が納得できる内容であることを確認した上で、交付額の検討をしたいところだが、現任期において結論を出すのであれば、据え置きとすべき。

協議結果 据え置きとすべき、として意見集約し、決定した。

●視察研修の報告書内容の公表

協議結果 7年度分の政務活動費を充てた視察研修の報告書については、提出議員が作成した任意様式のままホームページにおいて公表し、8年度以降に係る同報告書については、その取り扱いに関して協議を行い、報告書への必要記載項目を規定する、として意見集約した。

また、今回の調査をもって政務活動費に関する調査は終了した。

委員会会議録の公開について

意見 現行のとおり、委員長による審査経過等の概要報告の形式でよい。

意見 市民への公開方法としては、審査等の中継が最も早く実施できる手法と考えており、その導入をもって、現行の委員長報告の形式で事足りる。

意見 会議を民主的に運営するためのルールとして、会議公開は最も大事な原則であり、現行の委員長報告の形式では不足である。

協議結果 引き続き課題整理シートを基に協議する。

議会報告会の内容について

協議結果 引き続き課題整理シートを基に協議する。

能代市議会基本条例の検証について

協議結果 今後の進め方について、次回、各会派の意見を持ち寄る。

（阿部 誠）